

株式会社アドバンテスト 決算説明会

2008年度第1四半期 決算報告

2008年7月25日

執行役員 管理本部 副本部長 中村 弘志

プレゼンテーション：

執行役員 管理本部 副本部長 中村 弘志

業績の概要

ADVANTEST

(単位: 億円)

	2007年度 実績					2008年度 実績		
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	前期比 (%)	前年同期比 (%)
受注高	532	420	312	358	1,622	182	-49.2	-65.8
売上高	571	578	350	329	1,828	265	-19.6	-53.7
営業損益	117	129	10	-29	227	-18	-	-
営業外収支	34	-6	10	-30	8	15	-	-54.6
税引前純損益	151	123	20	-59	235	-3	-	-
当期純損益	99	70	30	-33	166	-2	-	-
受注残	490	332	295	324		241	-25.6	-50.9

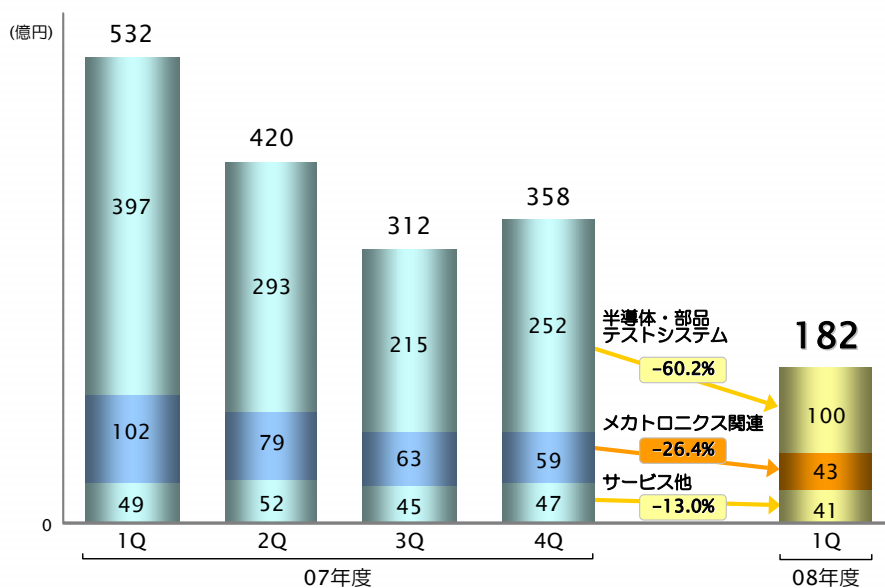
2

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/7/25

○ 当第1四半期の業績の概要

- ・ 受注高： 182億円
前期比 49.2%減
- ・ 売上高： 265億円
前期比 19.6%減
- ・ 営業損益： 18億円の損失
- ・ 税引前純損益： 3億円の損失
営業外収支 15億円の益
- ・ 当期純損益： 2億円の損失
- ・ 受注残： 241億円
前期比 25.6%減



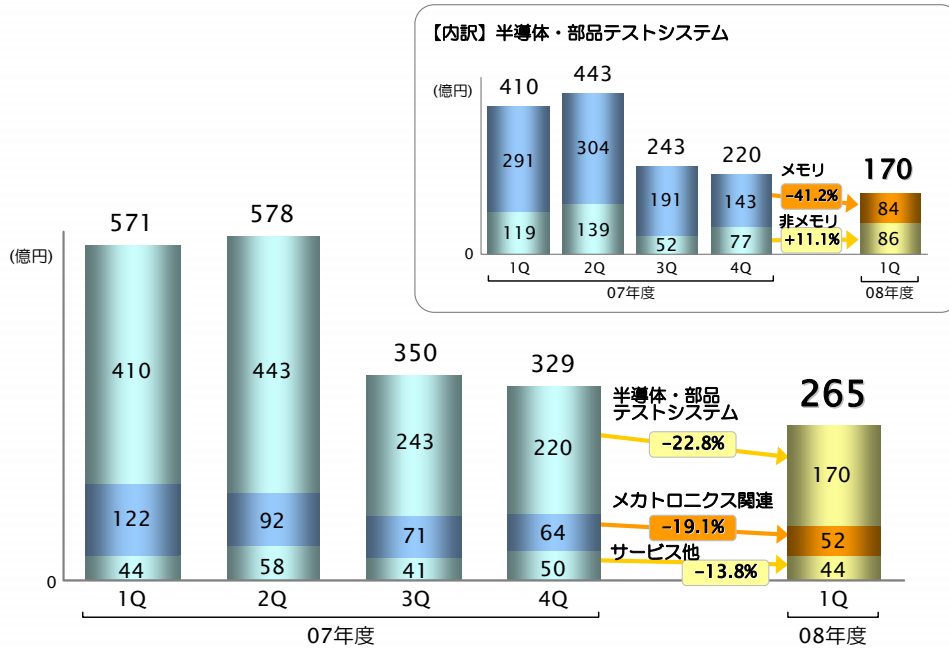
※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれております。

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/7/25

○ 当第1四半期
事業セグメント別の受注高

- 半導体・部品テストシステム：
100億円 前期比 60.2%減
理由 ⇒ 台湾、日本
DRAM向けテスト需要減少
- メカトロニクス関連：
43億円 前期比 26.4%減
- サービス他：
41億円 前期比 13%減



○ 当第1四半期

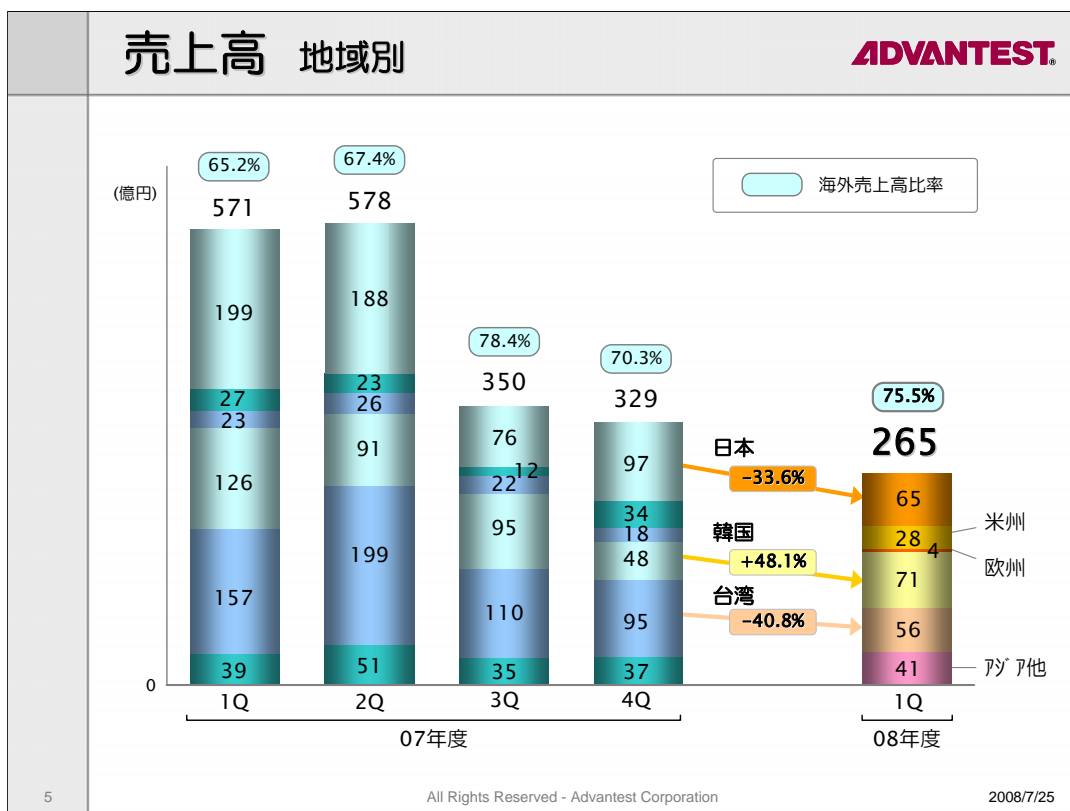
事業セグメント別の売上高

- 半導体・部品テストシステム：
170億円 前期比 22.8%減
理由 ⇒ 台湾、日本：
DRAM中心に投資は依然低調
- メカトロニクス関連：
52億円 前期比 19.1%減
- サービス他：
44億円 前期比 13.8%減

○ 当第1四半期

半導体・部品テストシステムの内訳

- メモリ： 84億円 前期比 41.2%減
- 非メモリ： 86億円 前期比 11.1%増



○ 当第1四半期
地域別売上高

【前期比で減少した地域】

- ・ 日 本： 65億円
前期比 33.6%減
- ・ 台 湾： 56億円
前期比 40.8%減

理由 ⇒ DRAM向けテスト投資 低調

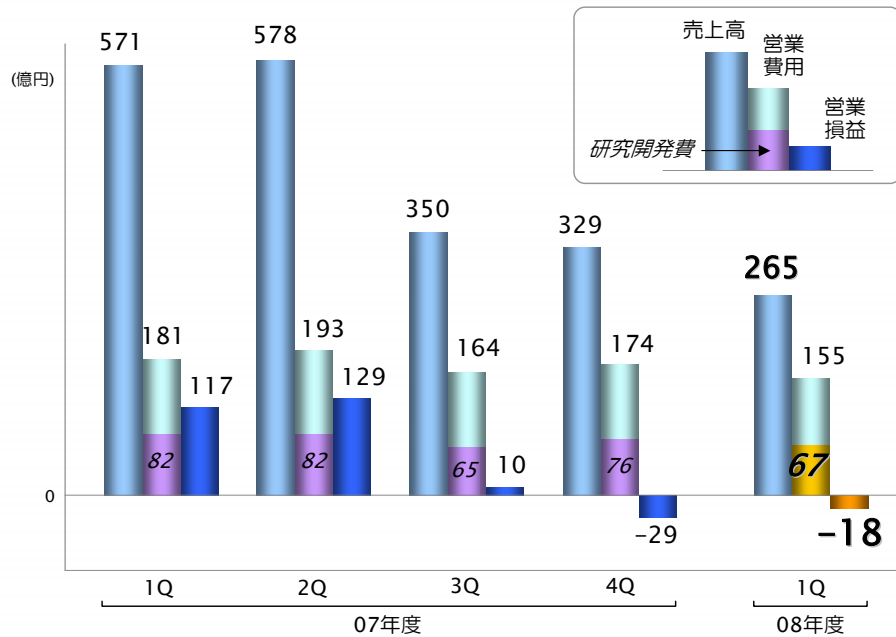
【前期比で増加した地域】

- ・ 韓 国： 71億円
前期比 48.1%増

理由 ⇒ DRAM向けテスト投資に若干の動き

営業費用 および 営業損益

ADVANTEST.



○ 当第1四半期

営業費用： 155億円

その内、研究開発費：

67億円 前期比 9億円減

○ 当第1四半期

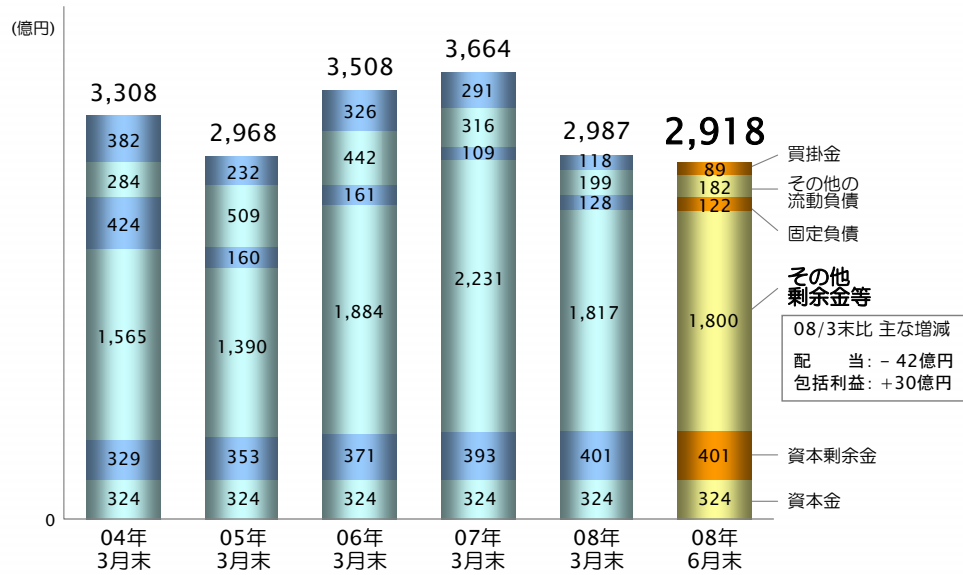
営業損益： 18億円の損失

理由 ⇒

固定費削減により、
営業費用を155億円に抑制したが、
売上高の大幅な減少をカバーしきれなかった

バランス・シート

ADVANTEST.



8

All Rights Reserved - Advantest Corporation

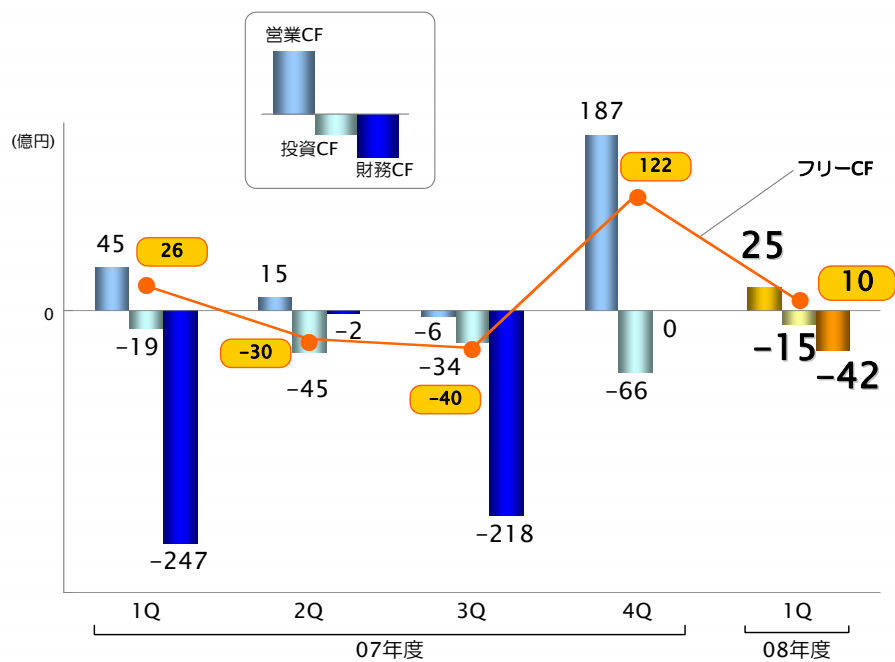
2008/7/25

○ 2008年6月末現在のバランス・シート 負債・資本の部

- ・ その他剰余金等： 1,800億円
2008年3月末比 - 17億円

キャッシュ・フロー

ADVANTEST.



9

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/7/25

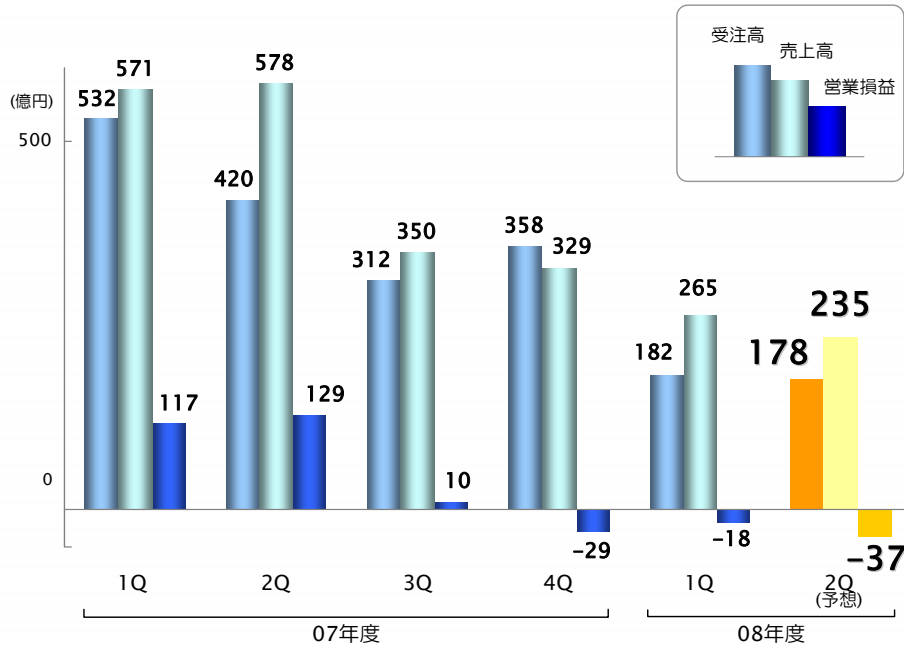
○ 当第1四半期

キャッシュ・フロー (CF)

- ・ 営業CF： 25億円のプラス
- ・ 投資CF： 15億円のマイナス
- ・ フリーCF： 10億円のプラス
- ・ 財務CF： 42億円のマイナス

第2四半期 業績予想

ADVANTEST.



10

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2008/7/25

○ 昨年度からの受注トレンド

- ・ 2007年度第3四半期
 - ・ 「潮目」が変化
 - ・ 国内デジタル家電向けテストが低調に
 - ・ 台湾、日本を中心としたメモリメーカーの投資抑制
- ・ 2007年度第4四半期
 - ・ 「T2000」受注回復
 - ・ メモリ・テストへの投資は依然低調
- ・ 2008年度第1四半期
 - ・ メモリ・テストを中心に投資が全体的に低調

○ 2008年度第2四半期 予想

- ・ 受注高： 178億円 前期比 ほぼ横ばい
- ・ 売上高： 235億円 前期比 11%減
- ・ 営業損益： 37億円の損失

○ 厳しい状況の下、

- ・ 徹底的な固定費の削減
- ・ マーケット・シェア拡大に向けた新製品開発に注力

ご注意

- ◆ 当社は米国会計基準を採用しております。
- ◆ 将来の見通しに関する記述について
本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。